

勇氣は機関車



平成29年 第73号
制作・編集・発行責任者
池部徹

子どもらしさ

今年の「こどもの日」は、下の子二人にせがまれて近くの公園に出掛けましたが、新緑のなかを駆け回る子ども達には本当に癒されました。その様子にふと頭をよぎった言葉が、子どもらしさとか自分らしさの「らしさ」でした。

皆さんは、お子さんに「子どもらしく静かにしてなさい！」なんて言った事はありませんか？「○○らしい」という言葉は、他の誰とも違う自分そのものを言い表してくれているようですが、実は属性を表す表現です。何かのカテゴリーに入り従うこと、

つまり、ある分類に属す、ということ、これも度がすぎると、個性を見失うことになりかねません。騒がしくて、好奇心に溢れている、これが本当の子どもらしさじゃないかなと私なんかは思っています。一緒に歌い、一緒に絵を描き、一緒に走り回り、一緒に考え、一緒に悩む…そんな「一緒の時間」が多ければ、きっとその子の個性や才能がよく見えてくるでしょう。

私が思う一番の子どもらしさは、「夜空に輝く星々を手に入れようと一生懸命夜空に向かって手をのばす幼児の一途な行動…」これは幼稚ではなく純粹ということとです。

さて、私たち大人も、たまには少年少女時代に思いを馳せましょうか…。

二〇一七年 七月三日

機関車倶楽部主宰 池部 徹